



..... No10-2020.4.26

自由律俳句協会ニュースレター

.....

発行：自由律俳句協会

(このニュースレターでは自由律俳句協会の最新の活動状況をお伝えしていきます)

「第30回文学フリマ東京」開催中止のお知らせ

かねてご案内しておりました「第30回文学フリマ東京」（2020年5月6日 於：東京流通センター）は、新型コロナウイルス感染拡大の状況から、開催中止が決まりました。

文学フリマ事務局からの連絡では……

①「第三十回文学フリマ東京」においては、専門家会議の提言に準じた感染症対策を実施しても、参加者の皆さまが交流や売買を楽しめるような環境を提供することが困難になり、ひいては文学フリマの理念と目的「既成の文壇や文芸誌の枠にとらわれず〈文学〉を発表できる「場」を提供すること、作り手や読者が直接コミュニケーションできる「場」をつくること」の実現が困難であると判断したため。

②人の往来が増加するゴールデンウィークは、より感染症への警戒が必要となること。また、ゴールデンウィークの前半に各地で集団感染などが発生した場合、5月6日の「文学フリマ東京」は非常事態宣言や都市封鎖など強制力のある中止命令で開催不可能になるリスクがあるため。

③東京都での感染の広がりや大都市圏での感染拡大リスクの相対的な大きさ、文学フリマに参加される重症化リスクの高い方々への配慮、海外での深刻な感染状況、各種大規模イベントの中止決定などの出来事を総合的に鑑みて、今回の中止を決定。

自由律俳句協会としてもこの決定に従い、今回は出店中止とします。今後のスケジュールは、次回の東京会場の開催（2020年11月22日）または次々回（2021年5月）のいずれかへの出店を検討して参ります。
(自由律俳句協会・事務局)

◆文学フリマ事務局のメッセージから ~~~~~

▶文学フリマはなくなりません

文学フリマは大阪・福岡・札幌・岩手・京都・前橋・広島の各地域に事務局があります。今回の東京開催の中止で文学フリマがなくなることはありません。

▶作品を作り続けてください。作品を読みつづけてください

このような困難な局面にあっても、表現すること、表現を受け取り愛好すること、表現を受け継ぎはぐくむことは、文化・芸術に関わる全ての人たちにとって、きわめて重要な営為だと私たちは考えています。
(文学フリマ事務局代表・望月倫彦)

●若手作家ミニ句集の発行も延期させていただきます。

文学フリマ東京の開催中止に伴い、協会のオンデマンド冊子プロジェクトとして、出展を目指していた若手作家ミニ句集の発行も、ひとまず延期とさせていただきます。原稿をお寄せいただいていた参加者の皆さまには申し訳ありませんが、次の文学フリマ参加へ向けて、冊子作りの工夫など、取り組んでいきたいと思えます。

なお、準備期間が延びたことから、ほかの皆さんにも参加いただける企画を検討しています。文学フリマに自由律俳句を出していく仲間は、引き続き募集中です。「デザインが得意」「手書き原稿の打ち込み作業なら手伝える」という方は大歓迎です。 (寺田和可)

自由律俳句協会奨励賞の候補者募集のお知らせ

昨年、第1回の自由律俳句協会奨励賞を行いました。個人では富永鳩山氏と棚橋麗未氏、団体では木村緑平顕彰会に授与されました。役員会で話し合いが行われ、今後委員会を設けて決定することになりました。本年度は下記の表彰規定にそって行う予定です。

自由律俳句協会奨励賞の候補者または候補団体は、会員の皆様からの推薦により行われます。選定の基準は次の通りです。

1. 自由律俳句に大きく寄与している団体または個人。
2. その活動が自由律俳句に今後大きく寄与すると思われる団体または個人。
3. 原則として、団体の規模または個人の活動の大きさは問いません。

以上の事項にあてはまる団体または個人について、候補者をご推薦ください。事務局へご連絡いただき、所定の推薦書に諸事項を記入のうえ、九月末日までに提出をお願いいたします。

◆自由律俳句協会奨励賞の表彰規定（案）◆

<目的> 自由律俳句に寄与された個人または団体に対し、その功績を讃え顕彰することを目的とする。

この目的を実行するために自由律俳句協会奨励賞選定委員会を設立する。

<委員会の構成> 議長 1名 選定委員 4名 書記 1名

<委員の任命> 議長は、代表がこれを行う、または代表が推薦する者が行うものとする
選定委員は役員会が推薦する人の中から選定委員を選び代表が決定をする。

<受賞候補の推薦> 自由律俳句協会の会員が、該当する団体又は個人を所定の推薦書に諸事項を明記し提出する。

<受賞の決定> 受賞候補の中から、議長を含めた選定委員5人の合議の上での総意で決定する。意見が割れ、決定できないときは候補個人または候補団体を2つにまで絞り、多数決をもって決定する。

(佐瀬広隆)

自由律俳句関連のご案内

◆第54回 原爆忌全国俳句大会 ご案内

核兵器廃絶の先頭に立つべき日本の取り組みとして、原爆忌に寄せる思いや核兵器廃絶への思いを俳句で表現してきた本大会も54回目。今年も大会に向け、献句作品が募集されています。

記

開催日時：2020年9月12日（土）午後1時～4時

会 場：立命館大学国際平和ミュージアム

記念講演：山根和代氏（元立命館大学国際平和ミュージアム副館長）

作品顕彰：大会賞、京都府知事賞ほか後援団体賞

献句作品：2句1組1000円（10組まで応募可）

住所・氏名・電話番号を明記

学校・学年を明記した小・中・高校生は無料

締め切り：2020年7月10日（当日消印有効）

送 り 先：〒605-0952 京都市東山区今熊野宝蔵町6-4 伊藤哲英方

原爆忌全国俳句大会事務局 電話・FAX：075-551-3553

送 金 先：郵便振替番号 00900-1-327490 口座名 二弦俳句会

主 催：第54回 原爆忌全国俳句大会実行委員会

◆「尾崎放哉の詩」糸井邦夫木版画の世界

2020年3月21日（土）-3月27日（金）、東京都渋谷区の工房33ギャラリーで、糸井邦夫木版画展「尾崎放哉の詩」が開催されました。

尾崎放哉さんの俳句を、木版画で絵を付けて、今回、展示されることを知り、3月23日、副都心線北参道駅近くのギャラリーへお邪魔しました。会場には、160点の版画が展示されていました。展示の中には、版木の展示とともに、漫画家永島慎二さんのサインが入った彫刻刀が展示されていました。ギャラリーの方に聞くと、永島さんが糸井さんへ、差し上げた彫刻刀とのこと。放哉さんの俳句を木版画にすることを、永島さんが、糸井さんに勧めたそうです。

会場には、糸井さんの本が展示販売され、放哉さんと永島さんの本や資料も展示されていました。（野谷真治）

※「尾崎放哉の詩 糸井邦夫木版画集」は、さんこう社より刊行されています。

糸井邦夫さんと作品については、

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~ittoi/sakuhinn/hannga/housaihtml/housaihannga.html>

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くのイベントが中止や延期、さまざまな変更を余儀なくされております。ニュースレターでご案内したイベントについても、参加をお考えの際は、事前に確認をお願いいたします。

自由律俳句協会からのお知らせ

◆協会ツイッターで「自由律俳句ウィーク」開催

大型連休中の5月1日～6日に協会ツイッターでオンラインイベントを開催いたします。詳しくは、別刷「自由律の泉」4ページをご覧ください。

◆機関誌第1号 作品募集／結社・句会紹介の締切り間近

<作品募集規定> ①会員1人5句

②近句

③投句用紙またはコピーを使用して郵送
あるいはファックス、メールで送信

④投句料は無料

<結社・句会紹介> 送付済みの原稿用紙を使用

<送付先> 〒154-0012 東京都世田谷区駒沢 2-28-14 中塚唯人 宛

電話・ファックス：03-3422-6962

メール：tadato8008@nifty.com

<締切り> 4月30日(木) 必着

◆会計より会費納入のお願い

本年度の会計年度も半年を過ぎました。3月末現在会員の半数の方が収めてくださいました。会費は協会運営の命綱です。どうかよろしくお願いいいたします。

<会費納入先>

郵便振替口座 口座記号番号 00180-9-417884 加入者名「自由律俳句協会」

ゆうちょ銀行 記号10050 番号03963121 自由律俳句協会

▶ゆうちょ銀行以外からの振込みも可能です

他行より振込の場合、支店名：〇〇八(ゼロゼロハチ) 種類：普通 口座番号：0396312

口座名義：自由律俳句協会

※ただし、振込手数料はご利用の銀行や契約条件により異なるのでご注意ください。

自由律俳句協会 事務局

〒270-2329 千葉県印西市滝野 2-6-16 白松いちろう方

e-mail:siroo@mist.ocn.ne.jp TEL&FAX 0476-80-9177

ホームページ：<https://www.自由律.com/> ツイッター：自由律俳句協会@jihaijkyo